

ナタネミズツボ

Oncomelania minima (Bartsch)
新生腹足目・イツマデガイ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧II類

選定理由

越前海岸の生息地で生息条件が明らかに悪化しつつある。

分 布

石川県の能登半島及び新潟県の佐渡島に分布する。県内では、近年の確認がない。

種の特徴

殻長 3.5 ~ 4.0 mm、殻径 2.5 ~ 2.7 mm程度。卵形から塔状で、殻色は緑黄色で時には暗緑褐色。山沿いの小さな沢や湧水の滴るところで流れが緩やかで水たまりのような場所に生息する。水陸両生の性質がある。

生息を脅かす要因

各生息地はきわめて狭い範囲であり、環境改変により絶滅の危険性がある。

参考文献 環境省編 (2014a)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
											○						

エルベルギセル

Tyrannophaedusa aurantiaca erberi Nordsieck
異総目・キセルガイ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】情報不足

選定理由

評価するだけの確認情報が少ないが、今後の動向に注意を要する。

分 布

中部地方、近畿地方、中国地方に分布する。県内では、嶺北地方の山地を中心に、嶺南地方の一部にも分布する。

種の特徴

殻高 10 mm、殻径 2.5 mm程度。山地の朽木の下等に生息する。

生息を脅かす要因

分布が局限しており、樹木の伐採等による森林の減少等、環境改変による絶滅の危険性がある。

参考文献 環境省編 (2014a)、福井県自然環境保全調査研究会編 (1985)、東 (1995)、湊 (1994)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○				○	○	○	○						○	○	

シリオレトノサマギセル

Mundiphaedusa decapitata (Pilsbry)
異総目・キセルガイ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

本種は福井県が生息北限の滋賀県県境部と嶺南若丹山地で生息が確認されていたが、評価するだけの確認情報が少ない。今後の動向に注意を要する希少種である。

分 布

本種は、中国地方東部から近畿北部に分布する。福井県では滋賀県県境部と嶺南若丹山地の落葉広葉樹林にもみられ、れき混じりの斜面でみることが多い。

種の特徴

殻高 27 mm、殻径 7 mm、螺層 13 層。若幼層の 5 層内外 (螺塔先端部) が老成すると脱落する (シリオレ) 中型キセルガイ。殻口の上板は長く、多少湾曲する。前板は目立たず、下軸板は唇縁に達する。主襞は長く、腔襞は 3 が多い。

生息を脅かす要因

自然林、雑木林の森林開発や道路改修、近年増加してきているシカの下層植生への食害等による本種の生息環境の劣化に繋がることが想定される。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会編 (1985)、京都府 (2015)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○														